

報道関係各位

平成25年 12月16日
株式会社 クロス・マーケティング

学生の約70%が英語に対する意欲があるにも関わらず 海外勤務を希望する会社員は10%以下 また、英語に対する興味・関心は年齢とともに低下

ーグローバル化と英語に関する実態調査ー

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都中央区、代表取締役社長:五十嵐 幹)は、全国の20-49歳の男女を対象に、「グローバル化と英語に関する実態調査」を実施しました。

■調査背景・目的

急速なグローバル化の進展により、日本でも英語に対する興味・関心や関わり方などに、様々な変化が見られる。企業サイドでは、楽天の英語公用語化や、ソフトバンクの「TOEIC」を用いた報奨制度などをはじめ、多くの企業において様々な取り組みが行われている。
また、プリスクールや幼児のための英会話スクールなど、幼児の早期英語教育についても、多くのメディアで話題になっている。そこで本調査では、英語に対する興味・関心の実態や、英語力アップのための行動や企業の取り組み、また子どもの英語教育に関する実態について明らかにする。

■調査結果

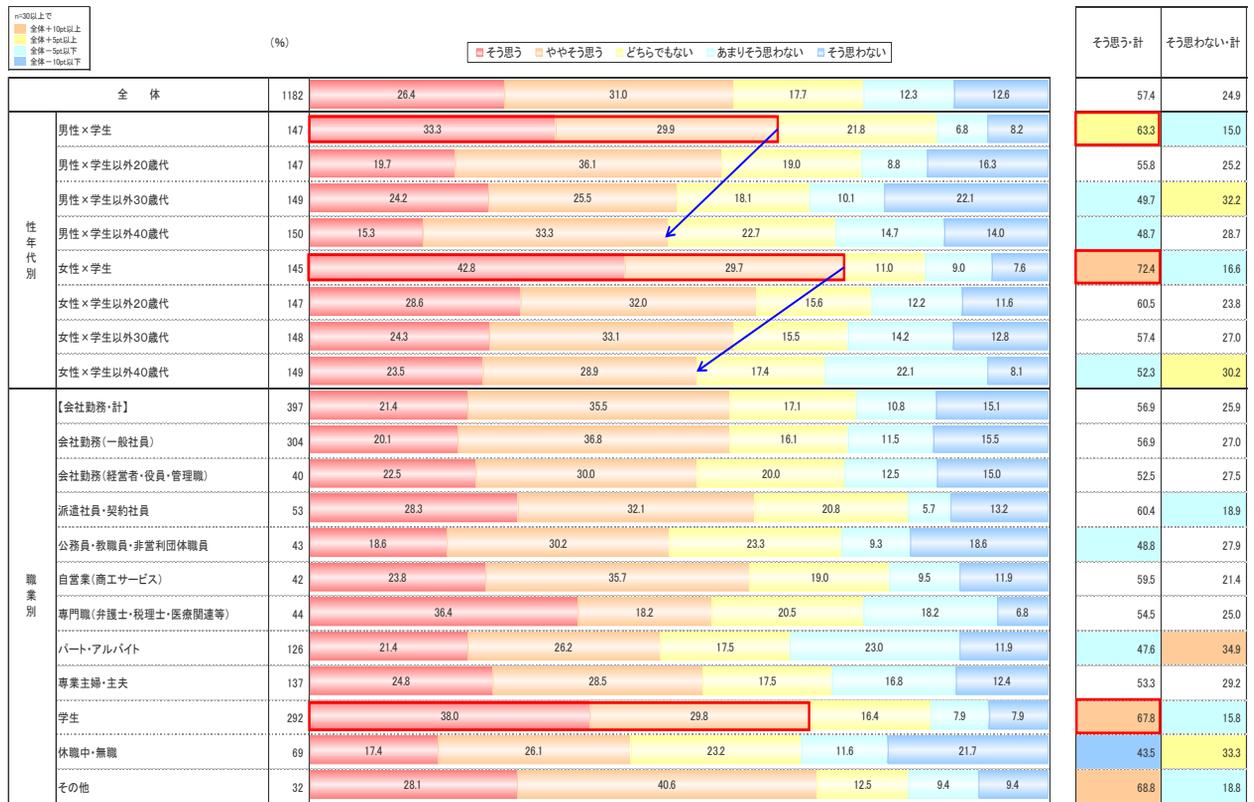
- ✓ 職業別にみると、学生の70%が「英語が必要」と回答。学生以外では、年代が上がるほど英語に対する関心は低下している。〈図1〉
- ✓ 英語に対する学習意欲が最も高いのは男女ともに学生で、その割合は年代が上がるにつれ低下している。〈図2〉
- ✓ グローバルで働くことに対する意欲について、「海外で働きたい」と思う人は全体で9.8%、「海外との関わりの強い仕事をしたい」と答えた人は全体で21.4%と学習意欲を大きく下回る。〈図3〉
- ✓ 英語を学ぶ理由については「グローバルにコミュニケーションをとりたいから」「趣味のひとつとして興味があったから」が、1・2位にランクインしている。〈図4〉

◆自主調査レポートの続きはこちらへ⇒<http://www.cross-m.co.jp/report/en20131216/>

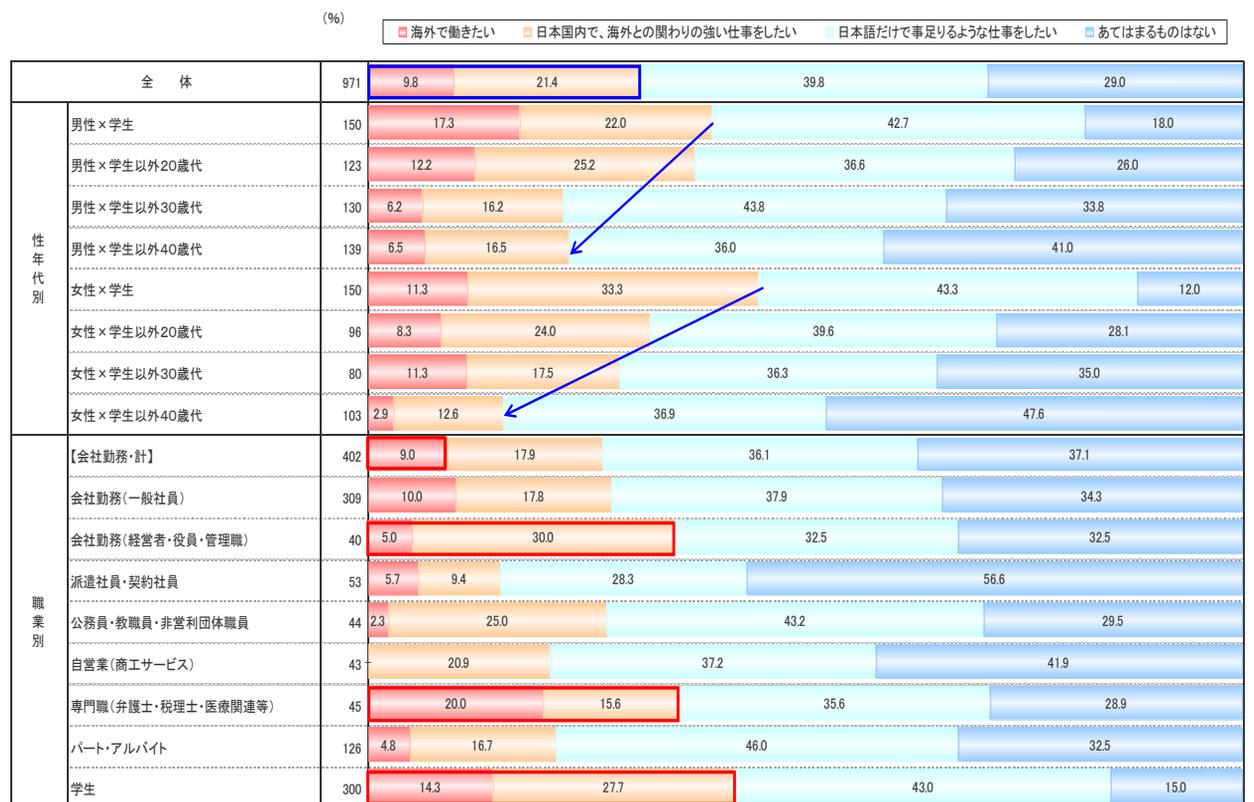
〈図1〉現在、または将来のことを考えたとき、あなたにとって英語力は必要だと思いますか。



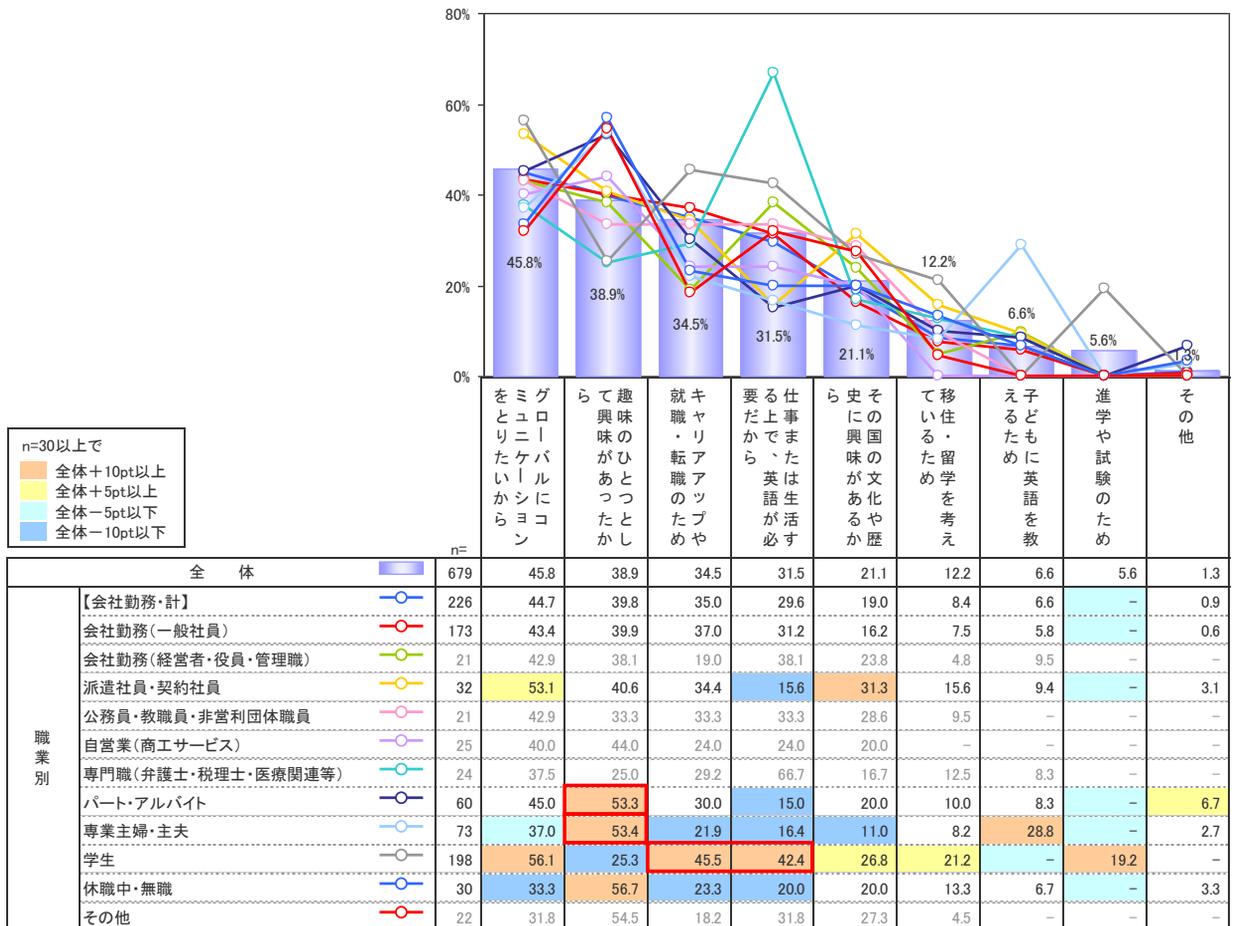
<図2> あなたは英語を学びたいと思いますか。(SA)



<図3> あなたは将来、グローバルに働きたいとお考えですか。(SA)



<図4> あなたが英語を学びたい理由としてあてはまるものを、以下の中からすべてお選びください。(MA)



■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ(クロス・マーケティングアンケートモニター使用)
 調査地域 : 全国
 調査対象 : 20~49歳の男女
 調査期間 : 2013年11月26日(火)~2013年11月27日(水)
 有効回答数 : 本調査1,200サンプル

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都中央区銀座8-15-2 銀座COMビル6F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : リサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当: 中野・渡部 TEL : 03-3549-0328 FAX : 03-3549-0232
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例>「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」